

やまが 市議会だより

第**22**号
6月定例会

令和元年9月1日
発行／山鹿市議会

米野山に生徒らの声こだまする
歴史を刻み希望をつなぐ



体育大会での選手宣誓（米野岳中学校）

9月定例会 会期日程

8月29日(木)	開会・提案理由説明
9月 4日(水)	質疑・一般質問
5日(木)	質疑・一般質問
6日(金)～10日(火)	各常任委員会
13日(金)	採決・閉会

もくじ▶	特集「山鹿の若者」は、いま！……………	2
	政務活動費概要報告……………	3
	常任委員会審査と報告……………	4～5
	議会用語集……………	5
	市政のここが聴きたい……………	6～10
	議会報告会案内……………	10
	審議結果・賛否表・主な議案・討論……………	11
	議会の主な動き他……………	12

18歳選挙権!

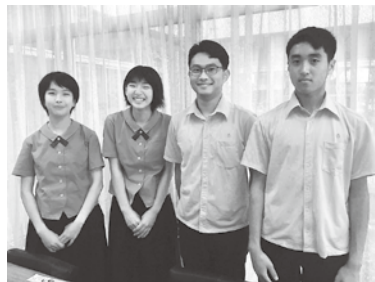
- 幅広い世代の意見が反映されると思う!
- ツイッターなどネットのツールで発信してみても?
- さっそく参院選に投票してきました!
- 誰を選んで良いか、難しいです...
- 自分が立候補するのは大変そう!



鹿本高校生徒会

市政に意見します!

- 通学路に街灯がなくて怖いです
- ファッション関係や映画館など若者向けの施設が欲しい
- 海外との交流やボランティア活動の機会を増やして!
- 就職先が足りません!
- 農業を活かした観光はどうでしょう?



鹿本商工高校生徒会

特集「山鹿の若者」は、いま!

高校生徒会 × 山鹿市議会

議会広報広聴委員会のメンバーで、山鹿市内にある4つの高校の生徒会役員の皆さんにインタビューを行いました!



鹿本農業高校生徒会

議員や政治に期待します!

- 増税に見合ったサービスの向上を!
- 若者が懂れる、倫理観ある政治家でいてください
- すべての人々に行き届く政治を!
- 安心して暮らせる街にしたいです
- 世界に誇れる故郷にしてください!



城北高校生徒会

私にとって山鹿は!

- 自然が豊で居心地が良いところ!
- 交通が不便で若者向けじゃない……
- 挨拶があふれる町!
- 外からも多くの人を訪れています!
- 市外に就職するけど、必ず帰ってきます!

インタビューにご協力いただいた、生徒会の皆さん (敬称略)

鹿本高校

かずえとしや 主計寿弥 (会長)、むとうだいき 武藤大樹 (副会長)、ながたあやか 永田彩花 (副会長)、せいだけんた 勢田健太 (役員)

鹿本商工高校

たかだるい 高田琉唯 (会長)、さかもとたくみ 坂本拓海 (副会長)、まきのなるみ 牧野那瑠水 (役員)、えとうひかり 江東希望 (役員)

鹿本農業高校

ふるもとあきら 古本 侃 (農ク会長)、あおきけんしょう 青木健頌 (副会長)、はぎおかなえ 萩尾叶枝 (副会長)、こがゆうと 古閑結翔 (書記)、いけだあいり 池田安伊梨 (会計)

城北高校

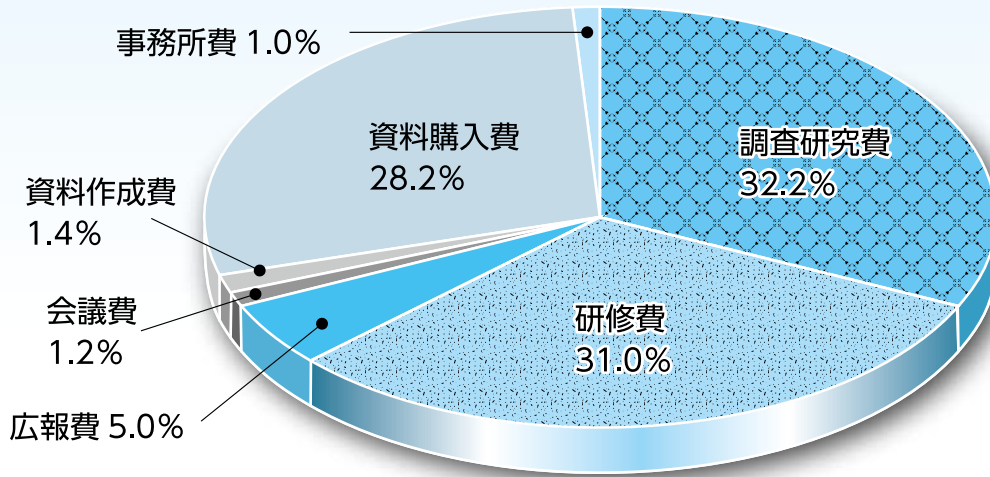
いのうえつばさ 井上 翼 (会長)、みやはらあやか 宮原彩夏 (委員長)、わきやましょうご 脇山省悟 (委員長)、こうづきかりん 上月花梨 (副会長)、さとうまい 佐藤真依 (副委員長)

平成30年度政務活動費概要報告

山鹿市議会の政務活動費は、「山鹿市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その活動に資するために必要な経費の一部として、市から公費として交付されています。市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる議員活動や住民福祉の増進を図るために必要な議員活動にかかる経費に使うことができます（私人のプライベートな活動・政党活動・選挙活動・後援会活動の経費は対象外）。

議員一人に対し月額2万円（年額24万円）が、毎年度4月に当該年度分として交付され、収支報告は、翌年度の4月末までに領収書その他支出を証する書面（1円以上すべての領収書等）を所定の収支報告書に添えて議長へ提出しなければなりません。交付総額から残金がある場合は市へ返還となります（収支報告書の保存は5年間）。

平成30年度政務活動費使途実績内訳



交付額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	使用額	返還額	公費使用額
4,800,000	1,511,998	1,453,723	236,633	0	0	53,986	67,971	1,321,124	0	45,360	4,690,795	319,139	4,480,861
100%	32.2%	31.0%	5.0%	0.00%	0.00%	1.2%	1.4%	28.2%	0.00%	1.0%			93.2%

項目	使 途 内 容
調査研究費	議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	議員が研修会を開催するために必要な経費／団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広報費	議員が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	議員が要請及び陳情活動を行うために必要な経費
会議費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

常任委員会審査と報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報広聴委員会で作成したものを掲載しています。

- は委員長
- は副委員長

現地調査

総務文教常任委員会

6/20
開催

- ◎寺崎 勇児 ○服部 香代
- 平井 邦廣 芹川 正美
- 富丸洋一郎 勢田 昭一
- 小川 榮二

消防本部鹿北分署庁舎建設へ

◆付託案件
議案7件…可決

◆主な審査内容

令和元年度山鹿市一般会計補正予算(第1号)

問 英語検定チャレンジ事業について、対象生徒の数とその補助率(3分の2)の根拠は

答 生徒数は、中学3年生を対象に100人を見込んでいます。

補助率は、県と市が3分の1ずつ補助するものである。

問 学校再編整備事業の弁護士費用は、これまでにどのくらいを要したか

答 第1審の着手金110万円ほどと、第2審の200万5千円。最終的に弁護士には訴訟が解決した後も支払う。

現地調査

山鹿若葉保育園

児童に安全で快適な保育環境を提供する目的で、平成31年3月園舎を改築。定員70人。

消防本部鹿北分署

消防総務課より「鹿北分署庁舎建設工事」について説明を受け、亀裂などを見聞した。



消防本部鹿北分署建設予定地

4月16日開催(継続審査)

陳情

○多目的展示場 仮称「山鹿文化展示センター」の設立について…不採択
○山鹿市役所への喫煙所設置に関すること…採択

市民福祉常任委員会

6/19
開催

- ◎堀 茂幸 ○吉本 政幸
- 永田 紘二 藤本 峰秀
- 有働 辰喜 芋生よしや

消費税増税に伴う経済的負担軽減策予算化

◆付託案件
議案8件…承認・可決
陳情1件…継続審査

◆主な審査内容

山鹿市国民健康保険条例の一部を改正する条例(専決処分の承認を求めもの)

問 課税限度額が「58万円」から「61万円」に改正されると、市民の負担増になるのではないかと

答 引上げの対象世帯数は175世帯で、約500万円程度の負担増、一方、5割軽減14世帯、2割軽減20世帯で約100万円の負担減となる。

山鹿市介護保険条例の一部を改正する条例

問 住民税非課税世帯対象の保険料引き下げによる減収はいくらか、またその歳入不足の財源はどうするか

答 全体で約3,360万円の減収となり、補助金で補填するが、国が2分の1、県が4分の1、市が4分の1負担で約840万円の負担となる。

令和元年度山鹿市一般会計補正予算(第1号) 中所管

問 1冊5千円分の商品券を4千円で5冊まで購入可能だが、一括購入できない人も多いと思う。分割購入も可能なのか

答 申請後に渡す購入引換券に1冊購入毎にスタンプを押して確認するシステムを採用するので最大5回まで分割して購入が可能である。

現地調査

移住定住促進事業

お試し住宅(旧岳間小学校用務員宿舎)の利用状況説明の後、建物視察を行った。

移住定住者宅訪問

東京都から移住の金原さん(かねはら)に移住動機、菊鹿に決めた理由、地域との関係や今後の夢を伺った。

陳情

○国保税引き下げのために国庫負担増額の意見書提出を求める陳情書 継続審査



お試し住宅(旧岳間小学校用務員宿舎)

建設経済常任委員会

6/18
開催

◎富田 弘海 ○北原 昭三
横手 啓介 池田 誠一
藤原 豊 立山大二朗

山鹿の農業・工業を底支え!

◆付託案件
議案2件：可決

◆主な審査内容

山鹿市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例

問 どのような内容で、具体的な支援内容(額)は

答 過疎地域自立促進特別措置法の改正に伴い、過疎地域内(鹿北町、菊鹿町、鹿央町)において、工場等の新設又は増設をされた場合、固定資産税の課税免除の適用期限が2年間延長されるが、本条例の改正を行うことで、過疎地域以外の地域においても、同様の支援が受けられ、市内全域での均衡を図るものである。
平成30年度の実績は、課税免除5件1800万円、工場等設置奨励金2件70万円、雇用奨励金4件600万円である。

問 令和元年度山鹿市一般会計補正予算(第1号) 中所管

答 農業用ハウス強靱化緊急対策事業では、どのような取り組みを行うのか

答 63haほど補修管理が必要なハウスがある想定し、資材や補強部材、錆止め、換気扇(災害対応型)を対象とする。ホームページ等で周知を行っている。

現地調査

市道大河内線災害現場、農業競争力強化基盤整備事業に係る津留地区現場、蒲生地区用水機揚水ポンプ施設適正化事業現場及び市内の渇水状況について調査を行った。



市道大河内線復旧前



市道大河内線復旧後

ころう君と学ぶ! 「議会用語の基礎知識」

「請願・陳情」って、なんだコロ~?

ころう君：山鹿はとってもいい街だコロ~♪でも、もっと住みやすくなるアイデアがあるコロ~♪けど、どうすればいいコロ~♪?
ちヨマト：それなら、市政に関する意見や要望を「陳情書」で市議会に提出する方法があるよ!
ころう君：それはどう書けばいいコロ~♪?
ちヨマト：件名、陳情の要旨、提出の理由、提出年月日、陳情者の住所および氏名等を書いて、印鑑を押せばOKだよ。
ころう君：ありがとう!さっそく書いてみたコロ~☆



* 市議会議員の紹介があるものを「請願書」といいます。
* 詳しくは、山鹿市議会事務局までお問い合わせください。

ころう君「ゆるキャラグランプリ2019」に関する陳情書

陳情趣旨

山鹿のアイドル「ころう君」を「ゆるキャラグランプリ2019」で優勝させるコロ~♪

陳情事項

1. 山鹿市民は毎日投票して、ボクを1位にするコロ~☆
2. ボクに山鹿のお米100%のおにぎりを毎日プレゼントするコロ~♪

令和元年9月1日

陳情者

(住所) 山鹿市菊鹿町米原 443-1

(氏名) さきもり ころう

(TEL) 0968-△△-5656



市政のここが聴きたい!



こちらのQRコードからご覧いただけます。

インターネット録画配信をご覧いただけます。

山鹿市ホームページ → 市議会一覧 → 定例会の様子

の順にクリックしてください。

成年後見制度について

質問 利用促進の取組みと基本計画の策定はどうするのか

答弁 福祉部長

山鹿成年後見センターが社協内に設置され、制度利用の基盤はできている。毎年フォーラムも開催し市民への周知に努めている。計画については地域福祉計画等の中に内容を盛り込む予定である。

質問 総合相談窓口等の中核機関の設置について

答弁 福祉部長

コーディネートの役割を担う中核機関は必要である。複合的、複雑化した課題を抱えた人を包括的に受け止める場として地域包括ケアシステムの要を担う部署の設置を検討している。早期の設置に努める。

小学校における英語教育とプログラミング教育について

質問 英語教育は来年度から新学習指導要領が完全実施となる。プログラミング教育も来年度から必修化されることから、英語教育についてはサポートする人員の配置を、プログラミング教育にはICT支援員や必要なリソースの予算措置が必要ではないか。

答弁 教育部首席教育審議員

英語サポートの人員配置の検討を進める。またICT環境の充実、支援員の確保、教職員研修など研究を進めていく。

はっとり かよ
服部 香代 議員



山鹿小学校特別支援教室の増築について

質問 支援学級児童数は平成25年の14名から平成31年の48名へと大幅に増加している。昨年度から増築を求めていたが遅れているのではないか

答弁 教育部長

昨年度中に基本設計と実施設計を行う目標だったが受注業者が見つからず基本設計のみを行った。今年度は、工事を行うための実施設計の発注を進めている。

質問 事業全体のスケジュールや、特に工事の遅れなどが生じた場合は当該校への丁寧な説明をするべきではないか。コミュニケーションは取れているのか

答弁 教育部長

コミュニケーションについては配慮が足りなかった。今後は進捗状況も含め学校と緊密な連携を取りながら進めていく。



ながた こうじ
永田 紘二 議員

山鹿市における有害鳥獣被害防止の現状と今後について

質問 被害防止対策協議会及び防護対策の現状は

答弁 経済部長

協議会は、被害対策に必要な方法を調査検討し、農林業の振興を図ることを目的に市、JA鹿本、猟友会山鹿支部などの関係機関の各代表及び県振興局農林業振興関係課をアドバイザーとして構成。ワイヤーメッシュ柵の導入などの防護対策支援を行っている。

防護対策としてワイヤーメッシュ柵は昨年度まで国や市の支援で総延長513kmを設置、また電気柵は2,044件に対し市の支援を行った。

質問 今後の防護対策について

答弁 経済部長

引き続き国や県、市の事業を継続。アナグマなどの対策も検証する。今後も被害防止技術の情報収集に努め、有効な防護対策を講じる。

質問 有害鳥獣駆除対策の現状は

答弁 経済部長

猟友会は147名で年齢構成は60歳未満23名、それ以上が124名、そのうち80歳以上も16名いる。狩猟免許は銃が35名、わなが76名、両方取得は36名。平成30年度の捕獲頭数はイノシシやカラスなど2,697頭羽。そのうちイノシシの捕獲方法別では銃198頭、わな906頭であった。

質問 危険を伴う従事者証の今後の考えは

答弁 経済部長

今後も熊本県猟友会山鹿支部にお願いしたいと考えている。

質問 今後の対策について

答弁 経済部長

引き続き箱わな購入や狩猟免許取得、国の捕獲に対する交付金などを活用し支援を行う。地元へ農地や地域は自分たちで守る意識の醸成のため、現状及び支援策などの情報提供を図る説明会を開催する。

質問 新たな駆除技術の導入、駆除組織の構築は

答弁 経済部長

国や県の動向及び提案された事例などの情報収集を行い、適した対策を講じる。



とみた ひろみ
富田 弘海 議員

ふるさと応援寄附金について

- 質問**
- ①ふるさと応援寄附金の寄附額はいくらか。また、どのような使途につかわれてきたのか
 - ②寄附額と税控除額はどうなっているのか
 - ③今後のふるさと応援寄附金についてはどのように考えているか

答弁 総務部長

① 平成20年度から平成30年度までの合計で寄附件数3,012件、寄附金額78,854,396円である。なお、今年度は4月～5月の2ヶ月間で寄附件数1,024件、寄附金額14,214,000円と、例年よりも件数金額共に増加しており、これまでの取り組みによる効果が現れ始めている。

また、いただいた寄附金は、農産物の販売促進や6次産業化の支援、新小学一年生を対象にしたランドセルの贈呈、健康づくりにつながる健康ポイント事業に活用させていただいている。

② 本市へ入ってくるふるさと応援寄附金と、市内の方が他自治体に寄附をされることで住民税の一定額

が控除され税が減額になる寄附金税額控除の過去3年間の実績は、

平成28年	寄附金額10,654,000円、 市民税控除額4,087,000円
平成29年	寄附金額17,218,001円、 市民税控除額9,825,560円
平成30年	寄附金額26,409,725円、 市民税控除額12,361,359円

となっている。

- ③ ふるさと応援寄附金については、6月1日から新制度がスタートした。本市も統一されたルールの下、都市圏の県人会への働きかけやSNSによる情報発信を更に強化するとともに、特産物による返礼品に加え地域の観光資源を活かした体験型の返礼品の充実に取り組み、最大の効果を上げられるよう努めていく。



新一年生へのランドセル贈呈

旧市町における行政区数と平均世帯数について

質問 合併時平成17年と平成30年の比較

答弁 市民部長

住民基本台帳によると、平成17年3月末時点で、山鹿市全体で267行政区、1行政区当たり平均77世帯に対し、平成30年3月末の時点では258行政区、1行政区当たり平均84世帯となっている。

旧市町ごとは、下記の表の通り。

	H17 行政区数	H30 行政区数	H17 平均世帯数	H30 平均世帯数
旧山鹿市	124	115	98	113
旧鹿北町	48	48	32	31
旧菊鹿町	38	38	59	60
旧鹿本町	28	28	108	116
旧鹿央町	29	29	53	56
全体	267	258	77	84

児童・生徒の登下校の安全対策について

質問 ①スクールバス乗降の安全対策
②通学路の点検

答弁 教育部長

①スクールバス乗降の安全対策は、5月末に発生した川崎市での事件を受け、直ちに各学校へ児童生徒の

児童館・学童保育の現状と課題について

質問 ①児童館・学童保育の利用状況
②児童館・学童保育の利用者目線に沿った、開館時間及び休館日の見直し
③情報発信及び老朽化施設の改善対策

答弁 教育部長

- ①児童館は、第一児童館が2,214名、児童センターが1,134名、中央児童センターが3,789名（オアシスクラブ含む）、鹿本児童館が10,006名（学童保育含む）合計17,143名。また全小学校区に20の学童保育（放課後児童クラブ）を開設、通年利用と長期休暇のみの利用を合わせた登録者数は731名。
- ②児童館の開館時間や休館日は、利用者のニーズに沿って設定していきたい。学童保育の開所時間は更なる延長や休日開所の要望があった場合、運営委員会と協議を行う。
- ③児童館については交通アクセスの掲載や配布範囲の拡充など、より市民目線に立った広報に随時改善していく。老朽化施設は、財政面を含めた課題を勘案しながら改修を進めていく必要があると思っている。また、国が推奨している学校施設の利活用について検討し、学童保育の環境改善に努める。

せいだ しょういち

勢田 昭一 議員



防犯対策について注意喚起を行い、後日、文書による通知も行った。

学校ごとに防犯活動に取り組んでいるPTA等を、地域防犯ボランティア団体として山鹿警察署に登録することで情報共有を進め、防犯体制のさらなる充実を図るとともに教育委員会が管理する公用車を青色防犯パトロール車に登録し、事故事件の多発する時間帯等にパトロールを行い、抑止に繋がるような計画も進めている。

- ②毎年、年度当初に通学の経路及び危険と思われる箇所について、教育委員会への報告を各学校に求めており、その後、小学校については、毎年8月に警察や国、県、市の道路管理者、学校や保護者代表等により、危険と想定される箇所の合同点検を行い、危険箇所の解消に取り組んでいる。

たてやま だいじろう

立山 大二郎 議員



公共施設等の多言語・多文化対応について

質問 ①多言語対応と外国人対象のインフォメーション機能のあり方は
②女子ハンドボール世界選手権大会における対応は

答弁 ①経済部長 ②教育部長

- ①八千代座、さくら湯、灯笼民芸館は、多言語表記の案内板やパンフレットで対応。市観光ホームページは4か国語対応。今後は宿泊予約、タクシー手配なども対応できるワンストップ機能を持ち合せたインフォメーション機能のニーズが考えられる。
- ②山鹿市総合体育館において、選手・関係者のエリア内は、誘導・標示サインに日本語と英語の表記、一般観客エリアでは、さらに韓国語・中国語を加えた4か国語の表記を計画。また、英語の話せる語学スタッフやボランティアを配置。宗教・文化面の配慮として、選手・関係者が利用できる「礼拝室」を設ける。会場までの道路誘導サインやカルチャースポーツセンター内の誘導・標示サインについても日本語と英語表記を行う

その他「灯笼祭等各種イベントと子どものかかわりについて」を質問した。



いもう
芋生 よしや 議員

国民健康保険税引き下げについて

質問 国保の構造的課題の認識は

答弁 市長

財政基盤が脆弱であることが一番の課題と認識している。全国、九州市長会でも国保制度への国庫負担引き上げなどによる財政基盤強化を要望している。

質問 国民皆保険制度を守る対策。全国市長会が国に提出の要望書とは
山鹿市における国保税引き下げの緊急対策として
国保基金5億5400万円を使い
①8552世帯の平等割に1世帯2万円の補助
②子ども1466人の均等割を全額免除
合計1億4082万6000円の実施はどうか

答弁 市長

国が医療保険制度を一本化し、抜本的に改革を実施することが一番である。

子育て世帯の負担軽減に、子どもにかかる均等割軽減支援制度創設を求めている。

自治体ごとに格差が生じる軽減策でなく、等しく恩恵を受ける制度創設が重要。



きたはら しょうぞう
北原 昭三 議員

防災・減災の取り組みについて

質問 指定緊急避難場所となる学校体育館に自動解錠ボックスを設置できないか

答弁 総務部長

自動解錠ボックス設置については、まだ、運用開始後間もないことや、災害の種類や規模に応じた運用面、また経費の面、他の施設との関連等、設置については、今後、全国的な展開状況等を注視したいと考えている。

質問 山鹿市として、液体ミルクの導入についての見解を

答弁 総務部長

災害時の活用だけでなく、通常時の各家庭での育児、特に夜間や外出時の授乳の負担軽減等にも効果が期待されている。しかしながら、液体ミルクの導入については、発売後まだ間もないことから、機能面やコスト面など、今後調査、検討していく必要があるものと考えている。

新生児聴覚スクリーニング検査の公費負担について

質問 公費による助成額は平成31年度当初予算に反映されているか

質問

「子どもは宝だ」宣言をし、8歳までの医療費無料化を先駆けて実施している。子育て支援として子どもの均等割減免実施はどうか

「人口減少過疎化という課題に真正面から向き合い、地域に希望と活力を与え続ける」としている。その対策としてどうか

答弁 市長

市独自では考えていない。総合的、行政全体で考えていく。

山鹿市の自然・環境を生かした取り組み

質問 南小国町のようなドローンを活用した観光振興策についての見解は

答弁 経済部長

山鹿灯籠まつりではドローンによる空撮を行っている。様々な分野で需要が高まるものと考え、取り組みとしては、安全性等視野に入れ関係団体とも協議していく。



山鹿市の景勝地のひとつ「不動岩」

答弁 福祉部長

受診勧奨を継続し、出産後の乳児訪問や各種乳幼児検診において、検査受診の有無や診断結果、その後の経過について十分に確認し、継続した支援を行うことを徹底する。検査の公費負担については、その状況を踏まえたうえで、判断をしたいと考えている。

道路整備の効率化（診断システムの導入について）

質問 仕事の効率化を図ることができるスマホ利用の診断システムの導入に対する見解は

答弁 建設部長

道路の修繕を効率的かつ迅速に行え、職員の負担軽減も見込め期待は大きいものと思う。システムを構築するための初期投資や運用経費、導入後の効果など先進地の状況を検証しながら、システムの導入については検討していきたいと思う。

おくやみコーナーの設置について

質問 山鹿市において、おくやみコーナーを設置することについての見解は

答弁 市民部長

ご遺族が手続に来庁された場合は、総合案内より、担当課へご案内し、各種手続については、各課の担当者が入れ替わりで対応を行うことで、その場で手続が完了できるワンストップサービス体制を整えている。今後も、各種届出の手続については広報紙、ホームページ等で周知することとしている。



うどう たつき
有働 辰喜 議員

物品購入契約等の入札情報公開について

質問 スクールバス運行管理業務を含む物品購入等契約の入札情報は、非公表となっているが同じ公金支出であり、建設工事等と同様に公表すべきではないか。公表しない理由と、今後公表方法を含めて見直しを行うべきではないか

答弁 総務部長

法令による公表義務規定がなく、山鹿市も公表規定を定めていないため非公表であるが、入札事務見直しにより公表に向け現在検討中。公表後の入札に影響のない項目、期間、方法等を精査し、来年度から公表する。

スクールバス運行管理業務委託について

質問 発注時期の問題は改善されたが、発注方式は弊害を考慮して、貸切りバス使用はプロポーザル・総合評価方式、市所有マイクロバスは指名競争入札としてはどうか

答弁 教育部長

プロポーザル方式は、運行管理に対する企業の姿勢や体制、対応等について評価でき、子ども達の安全を確保する手段として有効であり、今後も実施したいと考えている。

鹿央地域のまちづくりについて

質問 平成27年度に作られた「鹿央地域活性化プロジェクト会議」を受けた具体的な取り組みと、第2期総合戦略で取り組む鹿央の振興策があるのか、また山鹿市の鹿央地域への長期構想は

答弁 総務部長

物産館を含む鹿央里やま公園の改修事業や、市道の改良工事、地域おこし協力隊による活動支援などがある。第2期総合戦略策定では、その波及効果が市域全体に及ぶような取り組みを考えている。鹿央地域に限らず、社会情勢の変化に伴う地域の課題やニーズ等を把握し、計画づくりに努めていく。



鹿央里やま公園

議会報告会を開催します

山鹿市議会では、議会の活動状況や結果を知ってもらうとともに、議会活動に対するご意見を聞く議会報告会を開催します。

市内5か所で開催しますので、ご都合のよい会場へお気軽にお越しください。



月 日	開始時間	会 場
9月19日(木)	午後7時～	鹿北市民センター 生涯学習室
9月20日(金)	午後7時～	鹿本市民センター 視聴覚室
9月25日(水)	午後7時～	鹿央多目的研修センター 中研修室
9月26日(木)	午後7時～	山鹿市民交流センター 中会議室
9月28日(土)	午後1時30分～	菊鹿公民館 視聴覚室

(報告会は1時間程度を予定しております。)

令和元年（第1回）6月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（山鹿市税条例等の一部を改正する条例）	承認
議案第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（山鹿市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第 4 号	山鹿市行政不服審査法施行条例の一部を改正する条例	可決
議案第 5 号	山鹿市税特別措置条例の一部を改正する条例	可決
議案第 6 号	山鹿市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第 7 号	山鹿市介護保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第 8 号	山鹿市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例	可決
議案第 9 号	山鹿市立小・中学校体育施設の使用に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第 10 号	山鹿市火災予防条例の一部を改正する条例	可決
議案第 11 号	令和元年度山鹿市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第 12 号	令和元年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 13 号	財産の譲渡について	可決
議案第 14 号	財産の取得について	可決
議案第 15 号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	可決
陳情第 6 号	多目的展示会場 仮称「山鹿展示文化センター」の設立についての陳情書	不採択
陳情第 7 号	山鹿市役所庁舎への喫煙所設置に関する陳情書	採択
陳情第 8 号	国保税引き下げのために国庫負担増額の意見書提出を求める陳情書	継続審査

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
議 員	立山大二朗	小川 榮二	芋生よしや	勢田 昭一	有働 辰喜	服部 香代	富田 弘海	富丸洋一郎	藤本 峰秀	北原 昭三	芹川 正美	藤原 豊	平井 邦廣	吉本 政幸	池田 誠一	堀 茂幸	永田 紘二	横手 啓介	寺崎 勇児
議案第 3 号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

上記以外の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。（議長は採決には加わりません）

反 対 討 論

3 番 芋生よしや議員

議案第3号専決処分の承認を求めることについて
（山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

国の法令改正に合わせて市が課税限度額を引き上げるとは、負担軽減や財政の安定化の抜本的な解決になっていないということが、全国・九州市長会などが、国庫負担割合の引き上げで安定かつ持続的運営を国に求めていることからはっきりしている。

国保の構造的な問題の矛盾を抱えたまま限度額を改めることは、国が公的な責任を放棄し国保税が高い要因を被保険者に押し付けることに、手を貸すことと同じである。

国保は住民のいのち及び健康を守る社会保障制度であり、地方自治体の一番の役割は住民の福祉増進を図ることである。

地方自治体の自主性及び自立性を十分に発揮して一般会計からの繰り入れも行い、住民の負担軽減を図ることを求め反対とする。

主 な 議 案

- ・令和元年度山鹿市一般会計補正予算〈
 - ・プレミアム付商品券事業……………9,841万5千円
 - ・低所得者及び子育て世帯の経済的負担軽減を図るため商品券を販売。（2万5千円券を2万円券で販売）
 - ・児童扶養手当……………8,086万3千円
 - ・児童扶養手当の支払い回数改定に伴い令和2年度支払い分の一部を前倒しするもの。および法律婚をしたことがない者への給付措置。
 - ・土地改良施設維持管理適正化事業……………720万円
 - ・農業用施設（蒲生地区用水機場）の改修工事。
- ・屈折はしご付消防ポンプ自動車1台……………1億2,980万円

議会の主な動き

4月

- 1日(月) 教職員辞令交付式
- 5日(金) 全員協議会
- 9日(火) 市内小中学校入学式
- 13日(土) 西南の役山鹿口戦没者慰霊祭
- 16日(火) 総務文教常任委員会
- 17日(水) 百歳到達者表敬訪問(1人)
- 18日(木) 広報広聴委員会
- 24日(水) 熊本県市議会事務局局長会
- 30日(火) 天皇陛下即位30年熊本県奉祝式典

5月

- 12日(日) 菊池川水防演習
- 14日(火) 広報広聴委員会
- 15日(水) 全員協議会
- 22日(水) 熊本県市議会議長会
- 29日(水) 議会運営委員会
九州市議会議長会監事会
九州市議会議長会理事会・総会

6月

- 4日(火) 全国自治体病院経営都市議会協議会理事会定期総会
- 7日(金) 6月定例会開会・全員協議会
広報広聴委員会
- 10日(月) 全国温泉所在都市議会議長協議会定期総会
熊本県市議会議長会
- 11日(火) 全国市議会議長会定期総会
- 14日(金) 質疑・一般質問
- 17日(月) 質疑・一般質問・委員会付託
- 18日(火) 建設経済常任委員会
- 19日(水) 市民福祉常任委員会
- 20日(木) 総務文教常任委員会
- 24日(月) 議会運営委員会
- 25日(火) 6月定例会閉会
- 27日(木) 百歳到達者表敬訪問(2人)

7月

- 8日(月) 全員協議会
- 8日(月) 山鹿市議会スポーツ振興議員連盟総会
- 11日(木) 百歳到達者表敬訪問(3人)
- 18日(木) 全員協議会
- 22日(月) 総務文教常任委員会行政視察(～24日)
- 24日(水) 鹿北菊池赤水線改修促進期成会総会
- 29日(月) 市民福祉常任委員会行政視察(～31日)
- 30日(火) 全国市議会議長会産業経済委員会

行政視察

ようこそ山鹿市へ

5月14日 茨城県つくば市 菊鹿ワイナリーについて

5月23日 富山県氷見市 窓口業務について

7月10日 神奈川県海老名市 ごみ減量化について

全国市議会議長会表彰受賞

6月11日に開催されました「第95回全国市議会議長会定期総会」(東京)において、市議会議員として長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、5人の議員が表彰を受けました。



永田 紘二議員(20年以上)



堀 茂幸議員(20年以上)



池田 誠一議員(20年以上)



藤本 峰秀議員(20年以上)



永田 健議員(10年以上)

【表彰規定】

10年以上及び15年以上市議会議員の職にある者。

編集後記

今回の市議会だよりは、新しい試みとして市内4高校の生徒会インタビューを掲載しました。若い皆さんが普段の生活から感じたことなどを元に、前向きで活発な議論を交わされ、山鹿市の未来は明るい！と確信したものです。われわれ議員にとっても多様な意見を伺うことができ、実に有意義な機会となりました。

国際連合が採択し日本政府も推進している、2030年までの国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」が最近よく話題に上っています。ネイティブアメリカンのことわざに「自然は子孫がらの預かり物である」というものがあるそうです。高校生達の頼もしい姿を拝見しつつ、我々も責任をもって持続可能な山鹿市にしていかなければならないと、改めて身の引き締まる思いをいたしました。

広報広聴副委員長
立山 大二朗